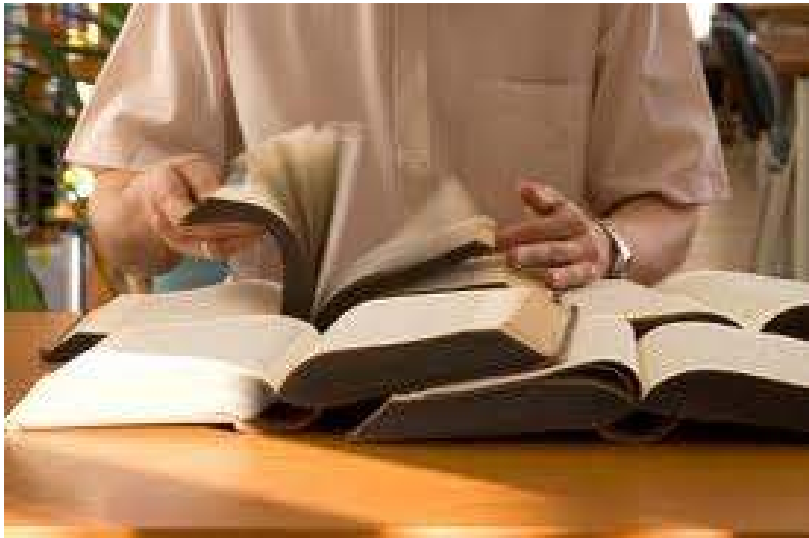


アクションリサーチ実習Ⅱ

速読力を高める指導法の研究



英語文化教育学専修
西中村 貴幸

1 テーマ設定の背景

◆ AR実習 I での生徒の様子

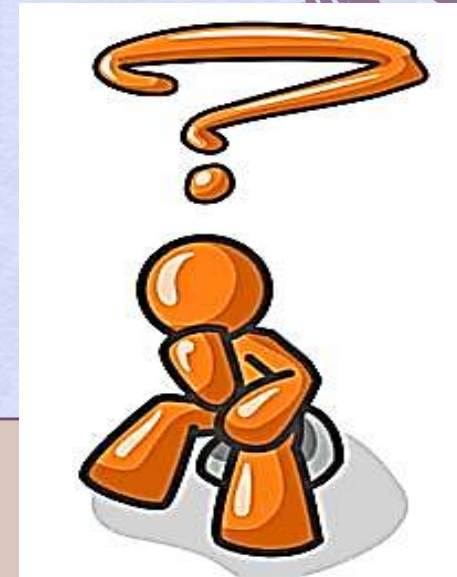
- ・長文読解に時間がかかる
- ・返り読みによる意味の把握
- ・情報の重み付けが不十分
- ・長文読解への抵抗感

**速読力
の不足**

説明，評論，物語，随筆などについて，**速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方**をする。

(高等学校学習指導要領解説 外国語編 p. 19)

1 テーマ設定の背景



リサーチ・クエスチョン

どのような指導を行えば、生徒の**読速度**を向上させることができるか。

* 読速度…**英文を目で追う速度**

【目標】

読速度200wpm, 内容理解度70%

(岩城, 1980; 谷口, 1992; 門田等, 2010をもとに設定)

2 仮説①の設定

スラッシュリーディング で「読み直し」を防ぐ

「スラッシュリーディング」とは？

- ・英文の読解速度を向上させる指導方法の1つ
- ・意味単位ごとに英語の語順のまま読む読み方
(石澤, 2011)

文頭から英語の語順に沿って理解すると、
読み直しもないため処理時間が短くなる

(門田等, 2010)

2 仮説の設定



仮説①

スラッシュリーディングの指導を行うことによって生徒は返り読みをしなくなり、読速度が向上するだろう。

2 仮説②の設定

速聴リーディング で処理速度を高める

- ◆ 次の文を黙読してください。

“It’s fine today.”

「**追唱**」…黙読時に発せられる“心の声”

2 仮説②の設定

速聴リーディング で処理速度を高める

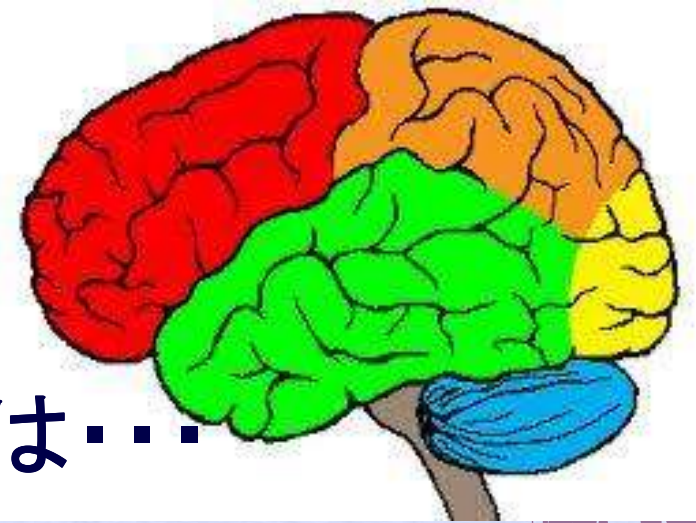
◆ 次の

「追唱」の速度を
上げることによって、
読速度も速まる！

(田中(監), 2010)

「追唱」…黙読時に発せられる“心の声”

2 仮説の設定



- ◆「追唱」の速度を上げるためには・・・
→聴覚と視覚を同時に刺激し，脳の情報処理速度を速める。

高速音声を聴きながら，
同時にそのテキストを目で追う

(田中(監), 2010)

速聴リーディング

2 仮説の設定

速聴リーディング で高速での黙読に慣れる

◆「インターチェンジ効果」

…高速道路を走行した後に一般道を走ると、車の進行速度が非常に遅く感じられる現象。（田中(監), 2010)



高速での黙読に慣れることで、それまでの読速度が遅く感じられ、自然と速く読めるようになる

2 仮説の設定



仮説②

速聴リーディングを行うことによって、
生徒は速い速度での黙読に慣れ、
読速度が向上するだろう。

2 仮説の設定



①スラッシュリーディングの指導を行うことによって生徒は返り読みをしなくなり，読速度が向上するだろう。

②速聴リーディングを行うことによって，生徒は速い速度での黙読に慣れ，読速度が向上するだろう。

3 研究計画

◆ 研究対象 : 広島大学附属高等学校Ⅱ年5組(38名)

◆ 使用教材 : ① *Timed Readings-Book One*
(Jamestown Publishers)

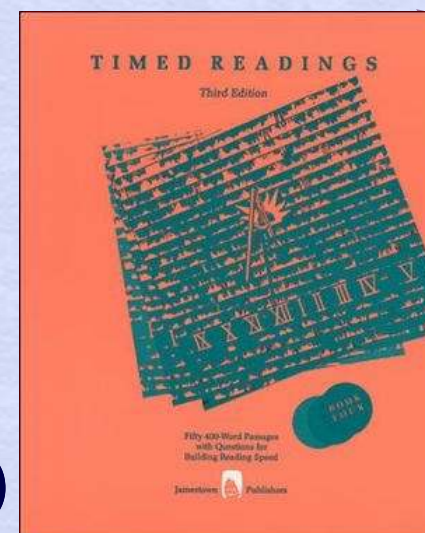
② R1 “The Day I Met My Mother”
English Course II
(第一学習社)

◆ 指導時間 : 全7時間

◆ データ収集方法

: Progress Graph, アンケート(事前と事後)

Voyager

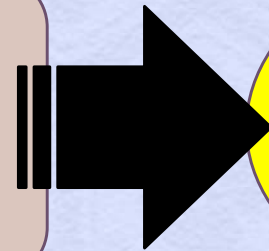


4 授業実践 (スラッシュリーディング)

1～4時間目(全7時間)

- ◆ 読速度の向上に特化した授業

読速度向上の
ための指導



読速度
測定

- * 指導上の留意点
⇒ 効果を実感させることで、生徒の学習意欲を高める

4 授業実践 (スラッシュリーディング)

1. スラッシュリーディングの速読効果の実感

例: A car needs fuel, / or gas, / in its engine / in order to run. // Your body also needs fuel, or food, / in order to work / for you. // ...

2. スラッシュの場所の理解と自身で用いる練習

- ①前置詞
- ②副詞
- ③不定詞
- ④接続詞
- ⑤関係詞
- ⑥句読点

これらの前に
スラッシュを
入れる

4 授業実践 (スラッシュリーディング)

3. つなぎことばの役割と機能を理解

例: Bees look innocent, **but**[逆接] many people are still afraid of them. Bees can give painful, **and**[追加] to some people, fatal stings. **But**[逆接] they don't sting unless they are scared or hurt.(中略) The wax is used to make **such** products **as**[例示] lipsticks and candles....

4. これまでの指導内容の統括

4 授業実践 (速聴リーディング)

5～7時間目(全7時間)

◆ 読速度の向上 + 教科書の読解



* 指導上の留意点

⇒ 速度を段階的に上げることで速い速度への慣れを促し、指導効果を高める。

4 授業実践 (速聴リーディング)

速聴リーディングの速度設定

日本における英語教育での速読＝
「ネイティブ・スピーカーが普通に読む速度」
(金谷, 1995)

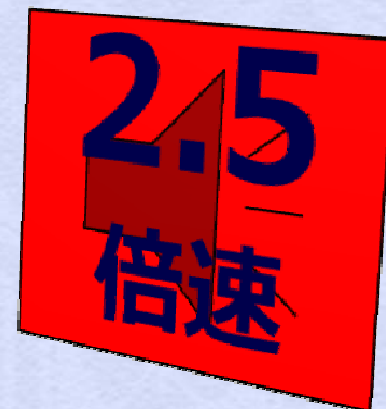
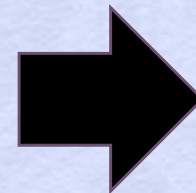
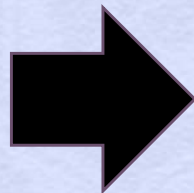
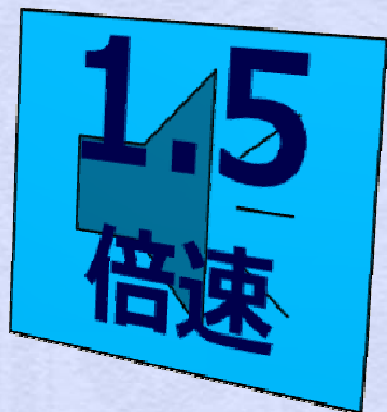
英語母語話者が文章を読む際の
標準的な速度は200～300wpm
(Nuttall, 1996)

200～300wpmが妥当！

4 授業実践 (速聴リーディング)

これから流れる音声を聴きながら、同時にその英文を目で追って下さい。

* 英文は資料1をご参照下さい。



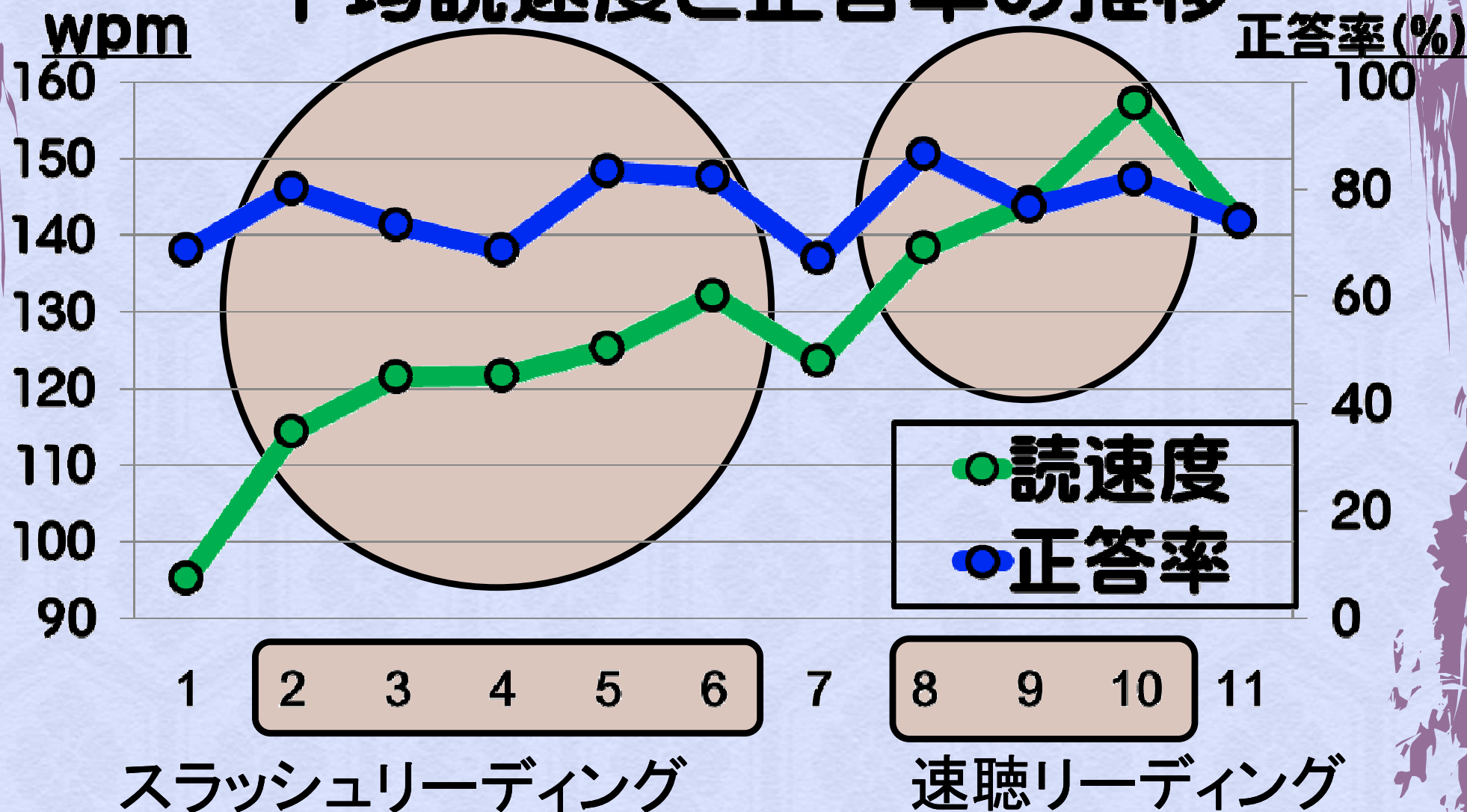
≒ 180wpm

≒ 240wpm

≒ 300wpm

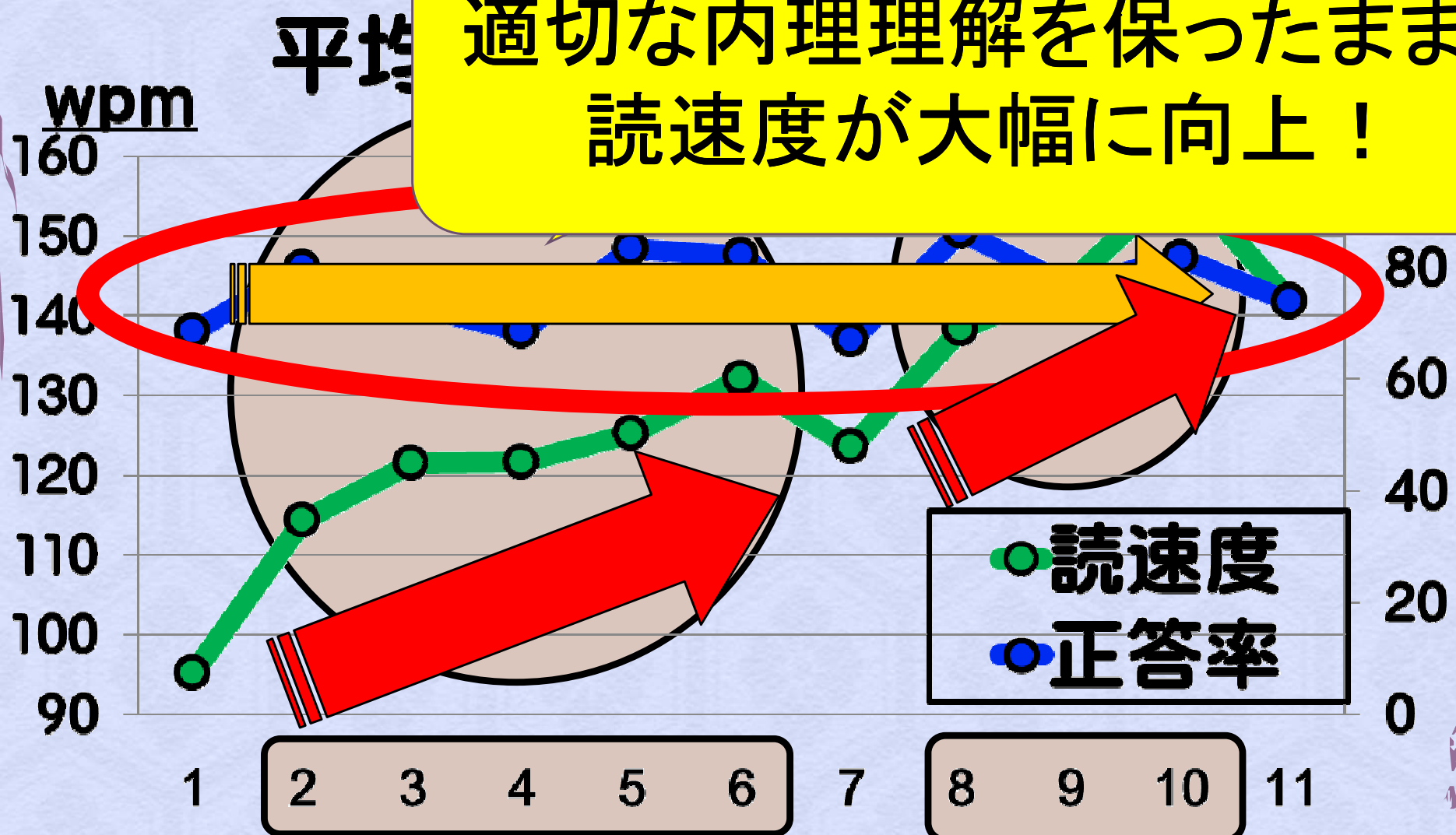
5 結果

平均読速度と正答率の推移



5 結果

適切な内理理解を保ったまま、
読速度が大幅に向上！

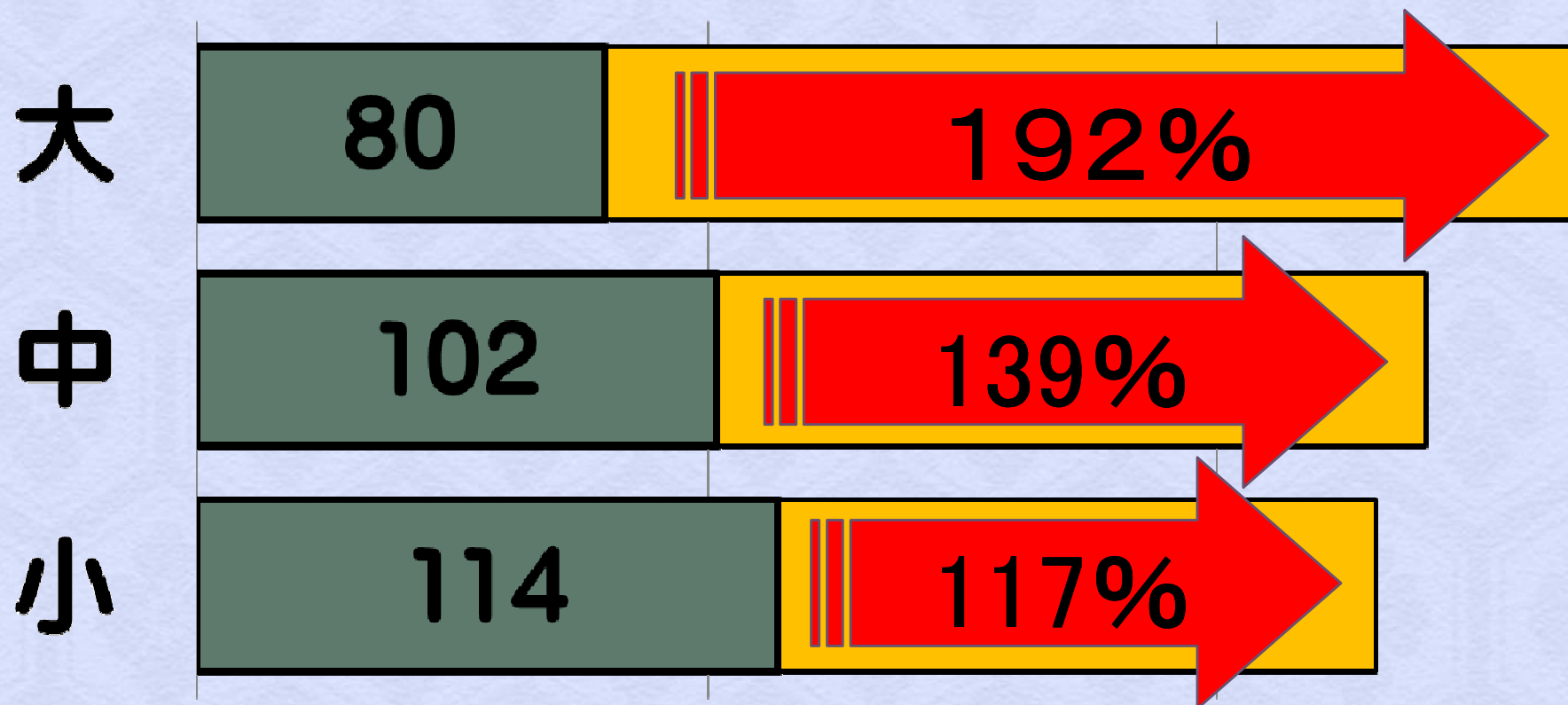


スラッシュリーディング

速聴リーディング

5 結果

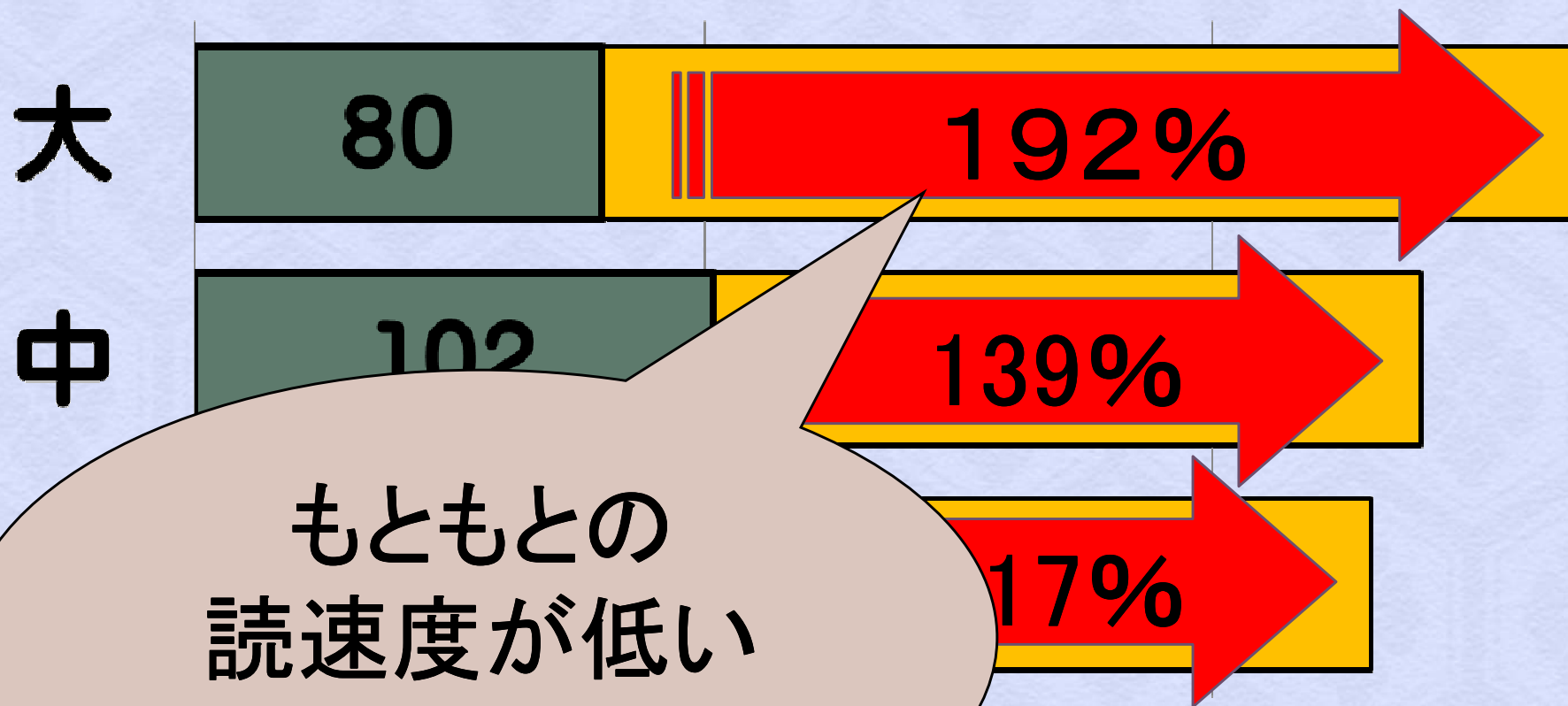
読速度の伸び率 (群比較)



■ 第1回目時読速度 (wpm) ■ 伸び率 (%)

5 結果

読速度の伸び率 (群比較)

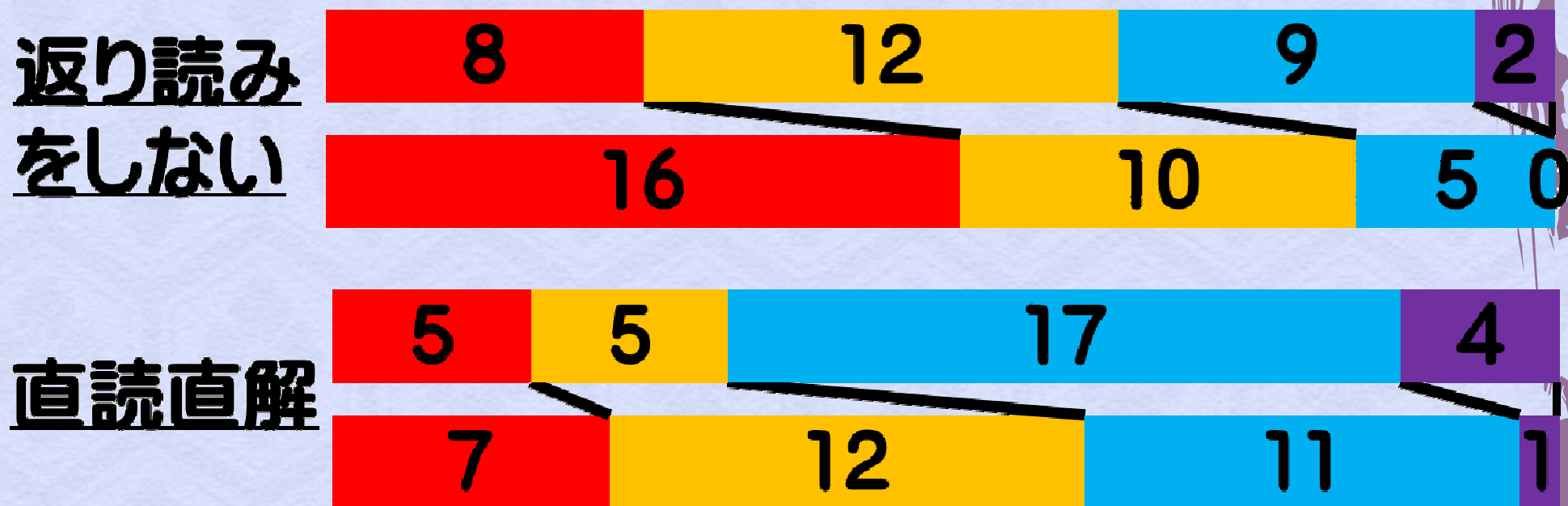


もともとの
読速度が低い
生徒に**効果大**！

■ 読速度 (wpm) ■ 伸び率 (%)

5 結果

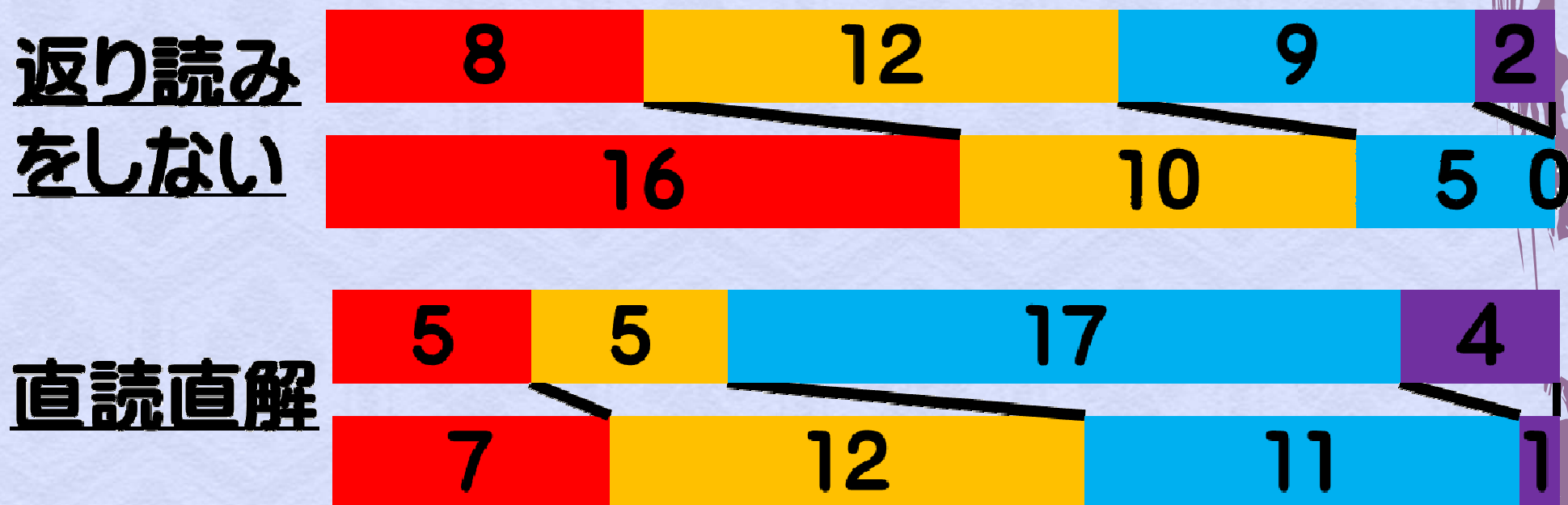
生徒の読解方略の変化



- 常に行う
- たまに行う
- あまり行わない
- まったく行わない

5 結果

生徒の読解方略の変化



速読に適した読みに変化！

6 スラッシュリレーディングの効果の検証

返り読みをしていた生徒の平均読速度の変化



6 スラッシュリーディングの効果の 検証

11人

振り返りをしてきた生徒の平均読速度の変化



●読速度	87.4
◆正答率	64.5

振り返りをしなくなり、
読速度が**向上**！

6 スラッシュリーディングの効果の 検証

生徒の意見

- ・まとまりごとに意味を取ることができる
- ・区切りがわかって意味が取りやすい
- ・前から順に意味を把握するようになる

- ・スラッシュを入れることに集中してしまう
- ・どこに入れるべきか迷う
- ・スラッシュの場所を間違えると、かえって読みにくくなる

6 スラッシュリーダーディングの効果の検証

生徒の意見

- ・まとまりごとに意味を取ることができる
- ・区切りがわかって意味が取りやすい
- ・前から順に意味を把握するようになる

効果を実感！

- ・スラッシュを入れることに集中して
- ・どこに入れるべきか迷う
- ・スラッシュの場所を間違えると、

指導時間の不足！

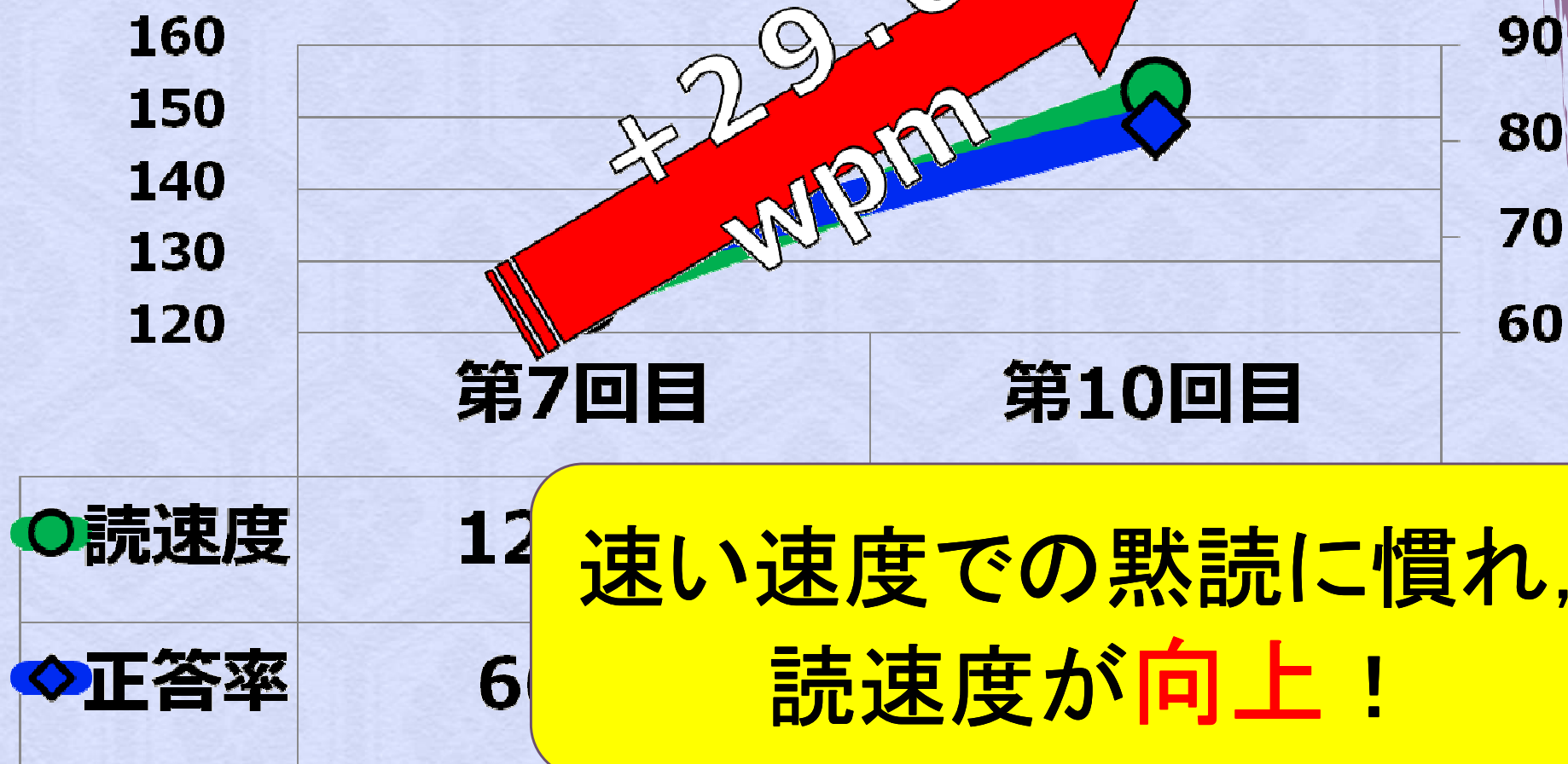
6 速聴リーディングの効果の検証

平均読速度と正答率の変化



6 速聴リーディングの効果の検証

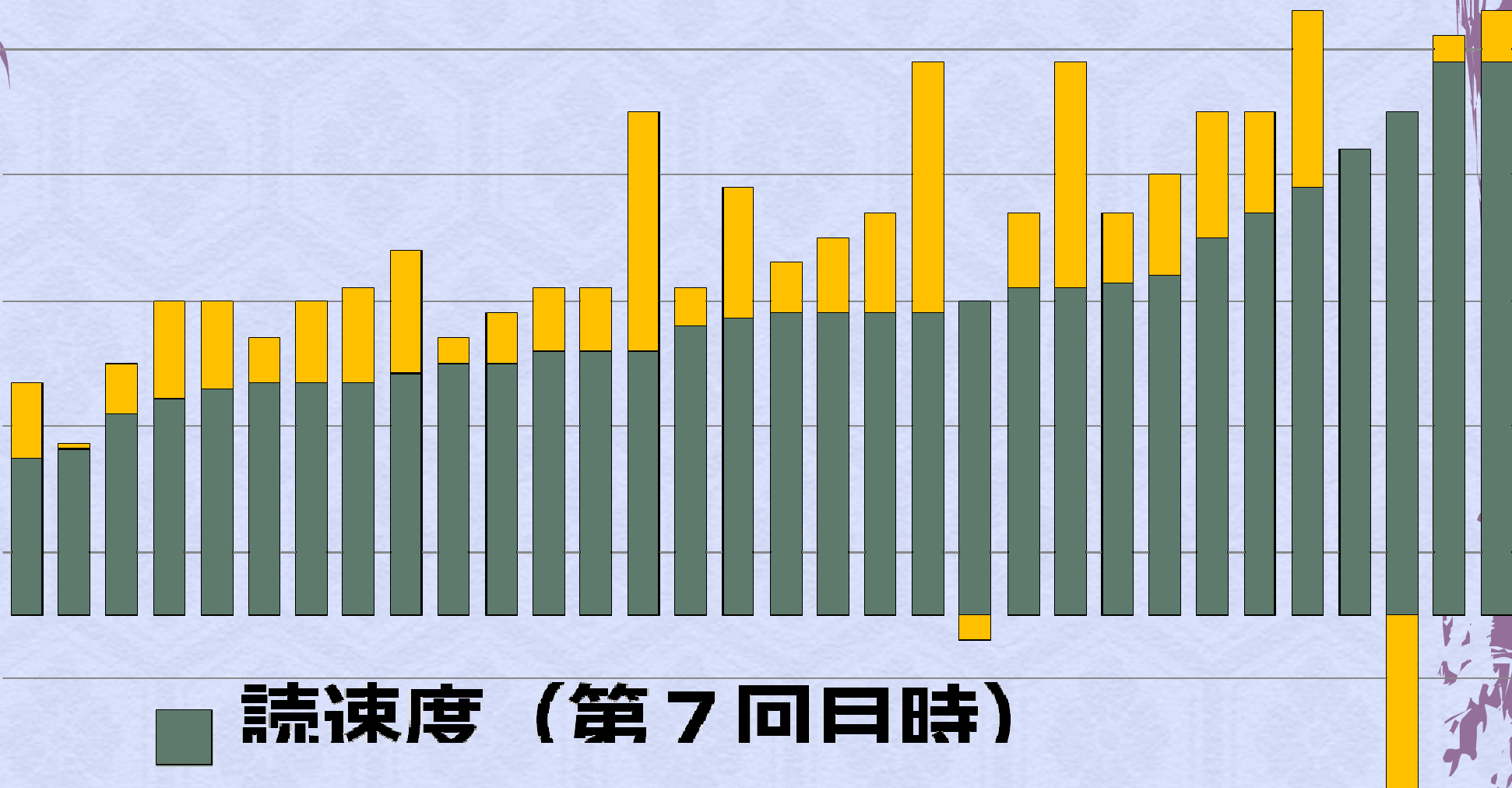
平均読速度と正答率の変化



6 証

速聴リーディングの効果の検

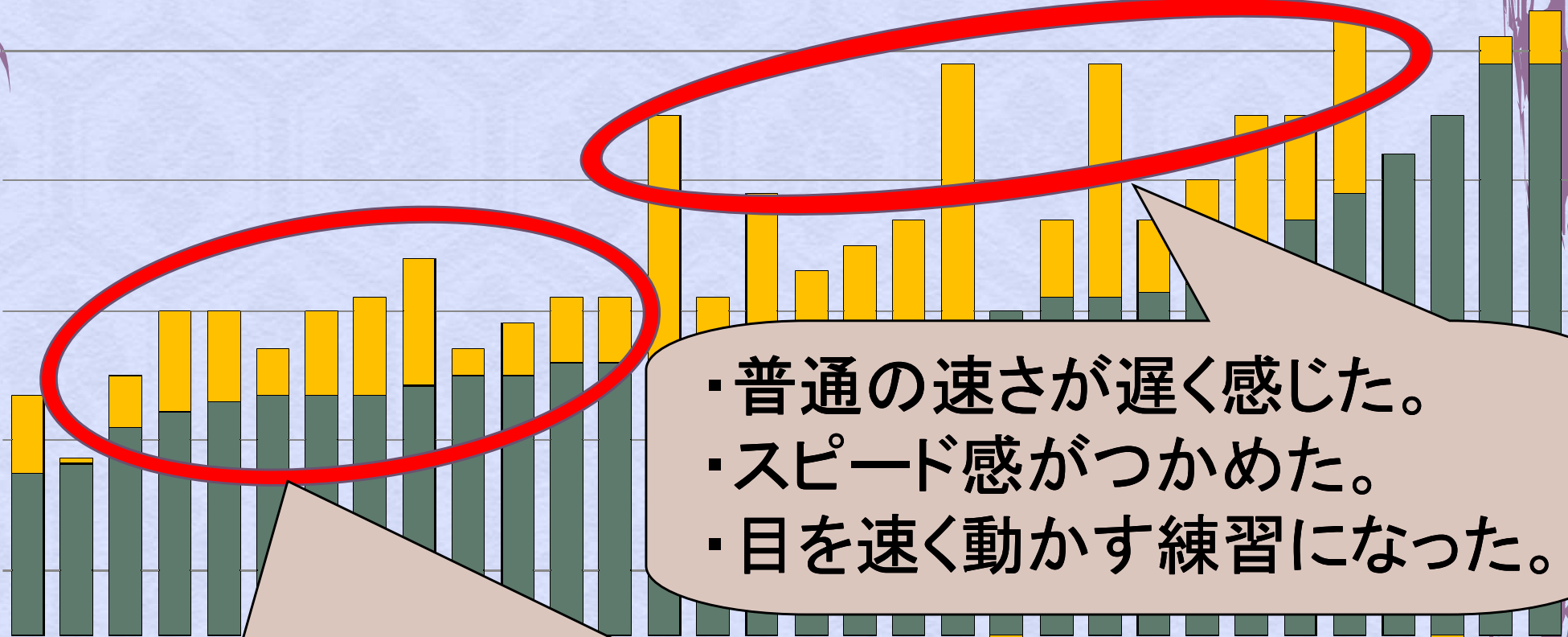
読速度の変化（生徒別）



6 証

速聴リーディングの効果の検証

読速度の変化（生徒別）



- ・普通の速さが遅く感じた。
- ・スピード感がつかめた。
- ・目を速く動かす練習になった。

- ・速すぎて目で追うのが大変だった。
- ・繰り返し何度もやっていくと、効果があるかも。

6 速聴リーディングの効果の検証

生徒の意見

- ・速聴の効果があるのはその時だけ。
- ・速読の直前にやらないと効果がない。
- ・速聴リーディング後にすぐに速読できるように、あらかじめ(速読用の英文を)配ってほしい。

6 速聴リーディングの効果の検証

生徒の意見

- ・速聴の効果があるのはその時だけ。
- ・速読の直前にやらないと効果がたつ。
- ・速聴リーディング後、本が読めるようになるが、
あらかた速読日

短期間での指導では、
効果の持続性
が課題！

7 成果と課題

成果

- ・適切な内容把握をしながら，速い速度で英文を読めるようになった。
- ・読解方略が速読に適したものに变化した。
- ・長文読解への苦手意識が減少した。

課題

- ・指導効果の持続性
- ・速聴リーディングの際の適切な速度設定

主要参考文献

- ・岩城禮三 (1980).「精読と速読」『英語教育』9月号. 大修館書店.
- ・石澤竜義 (2011).「スラッシュリーディングを用いた速読指導」『平成22年度研究紀要・研究集録』奈良県立教育研究所.
- ・門田修平, 野呂忠司, 氏木道人(編著)(2010). 『英語リーディング指導ハンドブック』大修館書店.
- ・金谷憲(編著)(1995).『英語リーディング論－読解力・読解指導を科学する』河源社.
- ・篠原菊紀(2010).『脳がみるみる若返る-速聴®ドリル』田中孝顕(監修), きこ書房.
- ・高梨康雄, 卯城祐司(編) (2000).『英語リーディング事典』研究社.
- ・武田修一 (2006).「話速変換トレーニングによる英文速読指導法の研究」『文京学院大学外国語学部文京学院短期大学紀要』文京学院大学総合研究所.
- ・谷口賢一郎 (1992).『英語のニューリーディング』大修館書店.
- ・文部科学省 (2009).『高等学校学習指導要領解説 外国語編』文部科学省.
- ・Nuttall, C. (1996) *Teaching reading skills in a foreign language*.
- ・Spargo, E. (1989). *TIMED READINGS-Book One* (3rd edition). Jamestown Publishers.
- ・Super-Listening Institute International (2010).『日本一かんたんな速読術 逆聴®リーディング』田中孝顕(監修), きこ書房.